

【新潟県栄養士会 栄養ケア・ステーション】 2024年度CSセミナー〈第1回〉 受講後アンケート結果

第1部 「求められる栄養ケア・ステーション」

～栄養ケア・ステーションの役割や必要性・期待～

講師：日本栄養士会 栄養ケア・ステーション事業部長 加藤 すみ子 氏

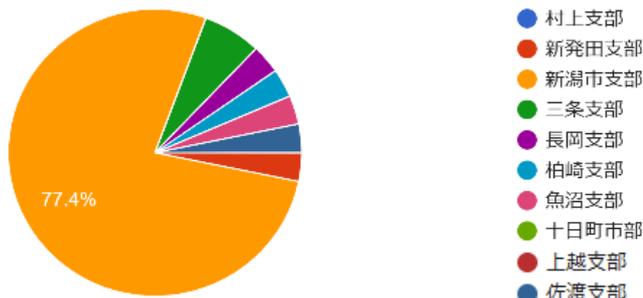
配信期間：2024.7.18～2024.7.24

○受講申込者数：44人

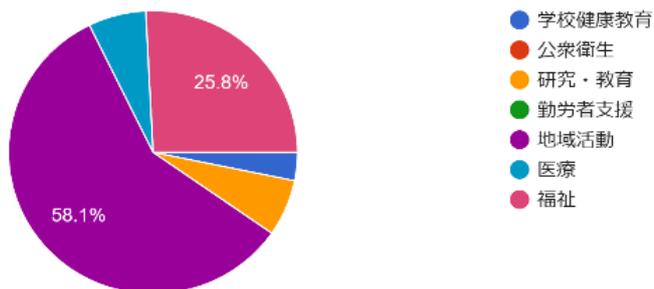
○再生回数：96回

○アンケート返信数：31人

所属支部
31件の回答

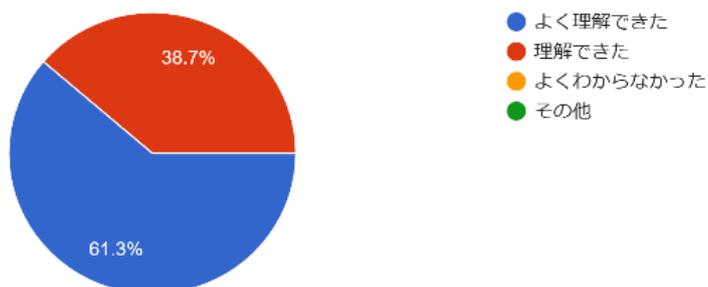


職域事業部
31件の回答



【第1部講義「栄養ケア・ステーション事業とは」についての意見・感想】

講義の内容はいかがでしたか？
31件の回答



- ・ケアステの登録者数が、全国的に少なく増員の必要性を感じた。
- ・新潟県の実状が分かりました。
- ・ケア・ステーション事業について詳しく知ることができました。
- ・栄養ケアステーションの重要性が、今後もっと増していくことが分かった。
- ・国の動向や新潟県の現状を丁寧に解説していただき、とても分かりやすかったです。
- ・新潟県の高齢化率が高いことを改めて知りました。栄養ケアステーションの数や依頼数の伸びが少なく残念に思います。栄養ケアの効果を広まることが大切だと感じました。
- ・高齢化率の高い県だからこそ、ケアステーションは必要と感じています。一翼を担えるようにフレイル事業を継続したいと思います。
- ・栄養ケアステーションの役割、必要性がこれからさらに高まってゆくの、日々勉強し役に立てるよう頑張ろうと思いました。
- ・高齢化社会に向けての全体的な国の方針と、新潟県の現状がよく分かりました。
- ・栄養ケアステーションの役割等が確認できてよかった。認定ケアステーションが新潟市に2つある事を恥ずかしながら初めて知った。(1つは知っていたが)
- ・栄養ケアステーションが求められる状況や背景について又新潟県栄養士会のこれまでの取り組み結果に説明いただき大変分かり易く説明をいただきました。
- ・日栄の加藤様が新潟県について具体的にご講義くださりまして、感激しました
- ・栄養ケアステーション事業を改めて知ることができた。わかりやすかった。また自分が所属する支部の登録人数が思ったよりも少なかったのが驚きであった。
- ・少子高齢化が進む中で、栄養支援を必要とする人がスムーズに利用できるような栄養ケアステーションが各地域に設置される必要性を感じました。
- ・特養での勤務ですが栄養情報提供書は今まで、数人にのみの情報提供しかありません。入所中の経過、栄養相談の内容等を記入する際、詳しく説明しようと思えば長文になってしまうことがあり後で読み返し何を伝えたかったのか・・・と反省することがありました。ただ、入院の手続きをした職員からは看護サマリーにはない情報が栄養情報提供書にあったので良かったとの話をもらったこともありました。入院した時に慌てて作成することが無いように、日頃から記入の仕方については練習が必要だなと実感をしました。講演の栄養支援の要約の仕方はとても参考になりました。ありがとうございました。
- ・わかりやすい説明でよかったです。体制作りは道半ばなのもわかりました。
- ・CSの仕組みや現状が把握できた。
- ・栄養ケア・ステーションの役割・必要性について、しっかり聞いたことがなかったため改めて詳しい内容を理解することができた。

【加藤すみ子先生への質問】

- ・報酬利用の栄養ケア・ステーション事業は、栄養指導を実施の際に 主治医との雇用、指示箋発行、報酬請求の労務が医師側の負担となり事業推進の足かせとなっている。本事業推進の際の 医師側へのアプローチについてご指導をいただきたい。
- ・都道府県栄養ケア・ステーションとクリニックとの業務契約による報酬利用の栄養指導を推進の際、栄養ケア・ステーションの担当業務内容及び担当者の雇用費用について他都道府県の状況について情報提供をお願いしたい。

→これから実態調査報告書お送りする予定です。また、今年度事業部として予定しているブロック単位での意見交換会等において共有できると思います。

- ・栄養CSの登録者同士の横のつながりを深くするにはどうしたらよいか

→県の栄養CSで説明会や事例検討、または意見交換会などの機会を作り、登録者の皆さんが集まれる場を作ることから始めてみては如何でしょうか？まずは、やってみる!という感じでトライしてみてください。

(県栄から)CSセミナー第5回ではZoomでグループワークや意見交換を行います。栄養CS登録者同士の交流になるよう企画しました。顔の見える横の繋がりも作っていただきたいです。